

## 霧島市のまちづくりの目標

### 1. まちづくりの基本理念

#### 「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」

この基本理念は、鹿児島空港を拠点として世界を視野にいれたまちづくりを進めるとともに、人と自然・歴史・文化などさまざまなふれあいのある調和のとれた田園文化都市に、製造業、農業、観光業、商業などの産業をバランス良く配置し、「住む・働く・学ぶ」などの環境が整った多機能都市を形成することにより、快適で愛着の持てる安心・安全なまちの実現を目指して決定しました。



霧島エアポートフォトコンテスト入賞作品「希望を乗せて出発」

## 2. まちの将来像

### 「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」

#### ●人と自然が輝く都市

市民と豊かな自然が輝きながら共生し、快適に住み、働き、学びながら様々な交流ができるまちづくりを進めます。

#### ●人が拓く都市

市民一人ひとり、市民団体相互が信頼関係を築き、それぞれの立場で行政との協働を進めることにより、市民が主役となった自立性の高いまちづくりを進めます。

#### ●多機能都市

南九州の交流拠点としての交通体系、豊かな自然・歴史・文化、さらに製造業、農業、観光業、商業などの産業をバランス良く配置することにより、「住む・働く・学ぶ」といった多種多様な機能が調和した快適で安心・安全な県央地域中核都市づくりを進めます。



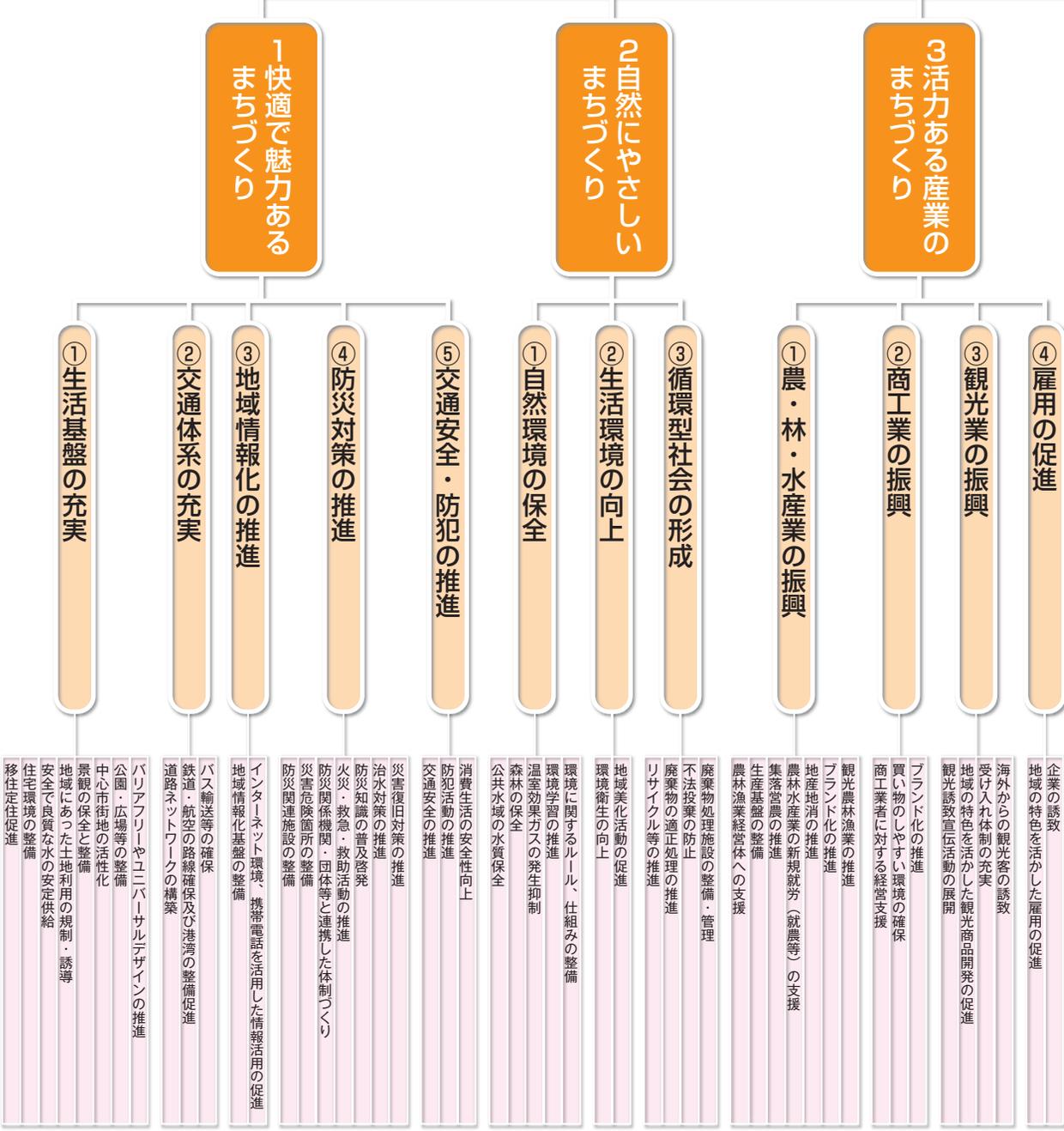
【まちづくりの基本理念】  
「世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市」

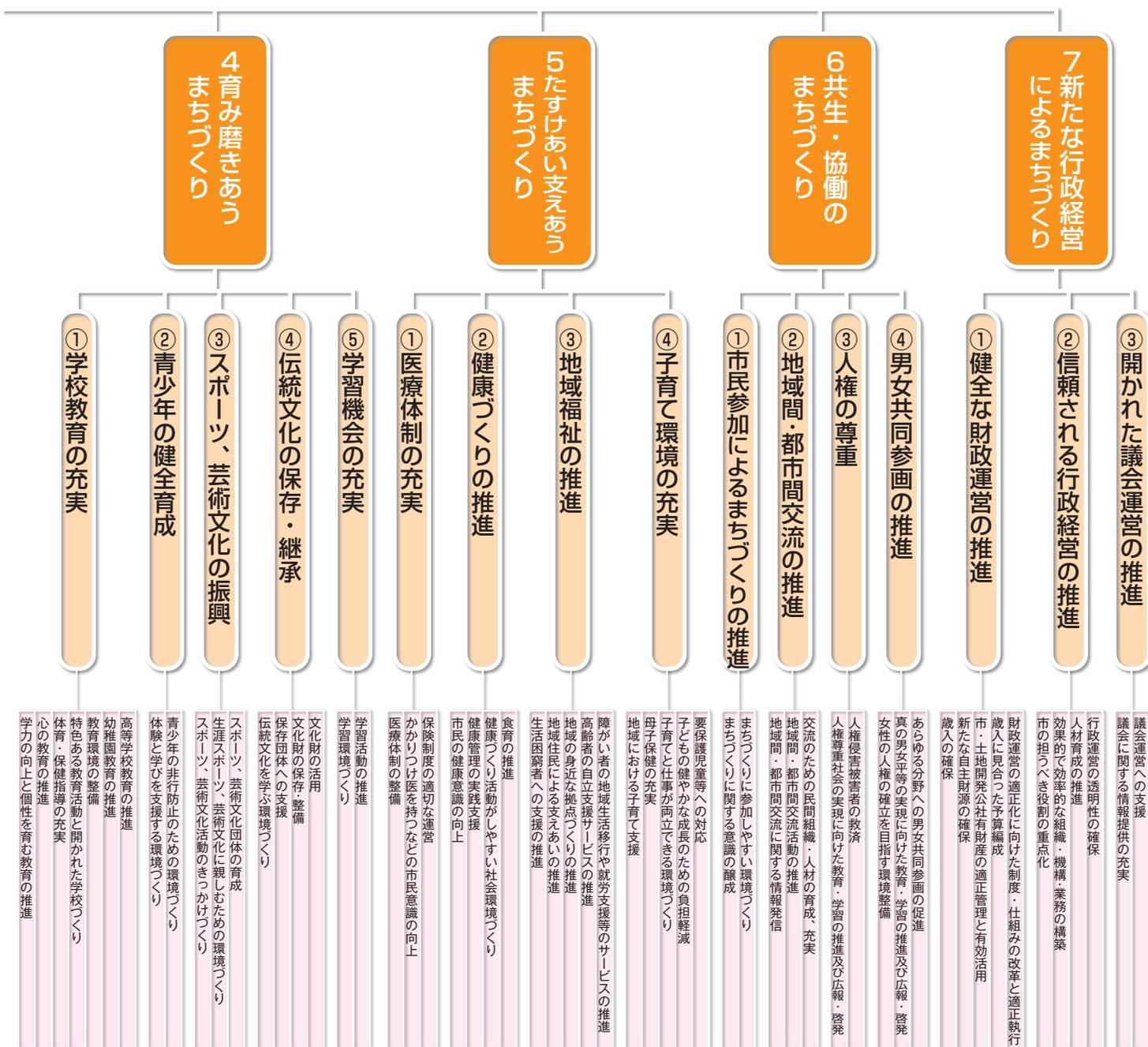
【まちの将来像】  
人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市

政策

施策

基本事業





## 将来像を実現する7つの柱(政策)

まちの将来像「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」を実現するために、次のような7つの柱（政策）を設定します。

### 1. 快適で魅力あるまちづくり

地域性を活かし、ゆとりのある快適な生活を送ることができるように、生活基盤の充実及び地域情報化の推進を図ります。また、市民や観光客などの移動を簡便にするとともに、地域住民の交流を促すために交通体系の充実を図ります。さらに、誰もが安心して安全な生活が送れるように、防災対策や交通安全・防犯活動の推進などを図り、快適で魅力あるまちづくりに取り組みます。



### 2. 自然にやさしいまちづくり

貴重な自然といつまでも共生できるよう、自然環境を保全するとともにリサイクルなどを推進し、循環型社会の形成を図ります。さらに地域美化活動の推進などを通じて身近な生活環境の向上を図り、自然にやさしいまちづくりに取り組みます。



### 3. 活力ある産業のまちづくり

今後、地方の自立が更に求められることから、地域経済を支える産業の成長が重要になります。このため、製造業における企業誘致、農業、観光業における人材育成、商業における買い物しやすい環境づくりなどを推進し、活力ある産業のまちづくりに取り組みます。



## 4. 育み磨きあうまちづくり

伝統文化の保存・継承に努めるとともに、地域性を活かした新しい文化の創造を目指します。また、地域に根ざした特色ある学校づくりなど学校教育を充実させるとともに、すべての世代が参加できる学習機会の拡大を図ります。併せてスポーツ、芸術文化の振興や青少年の健全育成を推進し、育み磨きあうまちづくりに取り組みます。



## 5. たすけあい支えあうまちづくり

市民が安心していきいきと暮らせるように、地域福祉及び地域医療の充実を図ります。また、生活習慣病の予防や早期発見、早期治療を促進するとともに、食育の推進などを通じて市民の健康づくりを推進します。さらに、子育て環境の整備・充実を図り、医療、福祉、健康、子育てへの不安のない、たすけあい支えあうまちづくりに取り組みます。



## 6. 共生・協働のまちづくり

市民と行政との協働による市民参加のまちづくりをさらに推進します。また、地域のリーダーの育成を図り、国内外の都市との交流に関する情報を積極的に発信するなどして、地域間・都市間交流を推進します。さらに、お互いの人権を尊重することができるように市民の意識向上を図るとともに、男女共同参画社会の形成を促進し、共生・協働のまちづくりに取り組みます。



## 7. 新たな行政経営によるまちづくり

市民に開かれた行政の推進や質の高い行政サービスの提供を積極的に行い、健全で自立した財政運営を推進します。また、総合計画の進行管理と予算編成、行政評価が連動した新しい行政経営システムを構築し、成果を重視した効果的・効率的な事業の推進を図るとともに、議会においても積極的な情報提供を図るなど新たな行政経営によるまちづくりに取り組みます。



## まちづくりにおける全庁横断課題（最重要課題）

### 前期5カ年の全庁横断課題（最重要課題）

「各々の地域が個性豊かに発展し、霧島市としての一体感を構築する」



課題を解決するためには…

市全域において産業の発展を図るとともに、快適な生活を送る上での課題を解消し、霧島市民の生活の満足度を向上させることが重要

全庁横断課題とは、本市の将来像である「人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市」の実現に向け、庁内全組織において横断的に取り組むべき最重要な課題のことを指します。

本市では、「第一次霧島市総合計画」の基本計画前期5カ年の全庁横断課題を「各々の地域が個性豊かに発展し、霧島市としての一体感を構築する」と設定し、計画期間内において本課題の解決に向けた取り組みを積極的に推進します。

本市では、まちづくりの課題として掲げた28施策のうち、全庁横断課題の解決に特に大きな効果をもたらすと考えられる次の8つの施策を「重点施策」と位置付けて積極的な推進を図ることとし、行政資源の重点的な配分を行います。

#### ◎「産業の発展の課題解決策」

- ①農・林・水産業の振興
- ②商工業の振興
- ③観光業の振興
- ④雇用の促進

#### ◎「快適な生活を送る上での課題解決策」

- ①生活基盤の充実
- ②交通体系の充実
- ③子育て環境の充実
- ④市民参加によるまちづくりの推進



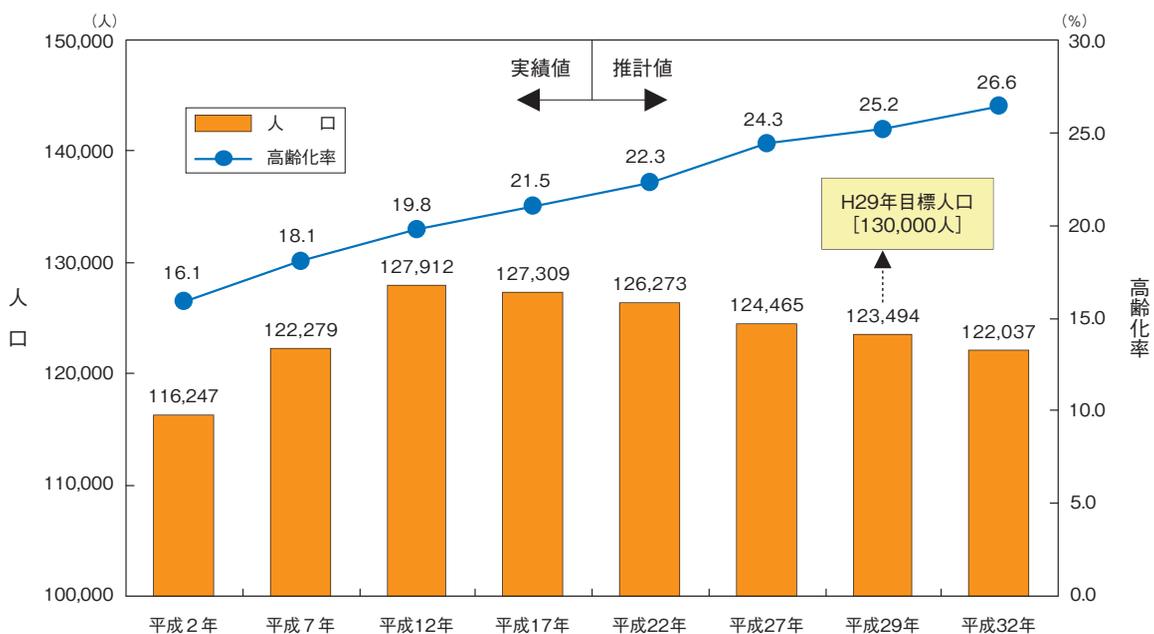
## 将来人口の見通しと目標

本市の人口はこれまでの推移を見ると、市街地においては、転入者及び出生者の総数が転出者及び死亡者の総数を上回っており、特に近年ではマンションの建築も相次ぐなど、人口が増加する傾向にあります。一方、中山間地域においては、転出者及び死亡者の総数が転入者及び出生者の総数を上回ることにより、人口が減少しています。現在のところ、市街地における人口増が中山間地域における人口減を上回っており、市全体としては微増の状態にあります。

しかし、国勢調査の結果に基づく推計によると、本市においても人口が減少する見込みであり、平成29年には124,000人を割り込むと予想されます。

このため、**社会経済情勢の変化に適切に対応し、産業基盤の強化による雇用の確保を推進するとともに、生活環境の整備や子育て支援の充実などを図り、人口増を目指すこととし、計画最終年度の平成29年の目標人口を130,000人と設定します。**

### 人口及び高齢化率の推移



資料：国勢調査





鹿児島県霧島市

## 第一次霧島市総合計画（概要版）

---

発行日 平成20年3月

編集・発行 霧島市企画部企画政策課

〒899-4394

鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号

Tel 0995-45-5111（代表）

Fax 0995-47-2522

HP <http://www.city-kirishima.jp>

---